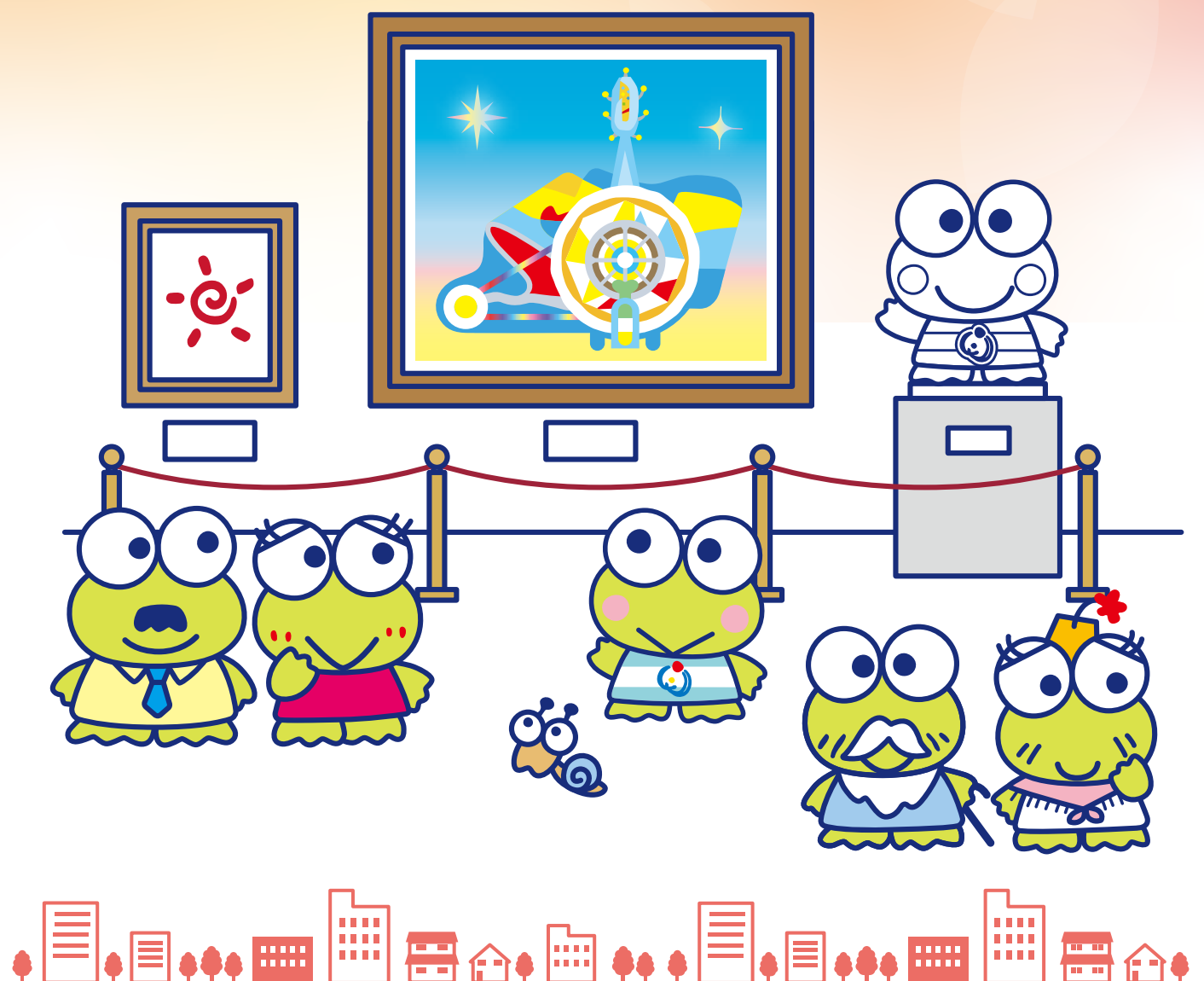


コミュニケーションBOOK

CSR VOL.5

～文化・芸術を楽しみ育む～



けろけろけろっぴは大阪商工信用金庫の
公式イメージキャラクターです!

日本文化の振興を通じた 社会貢献活動

当金庫本店ビルの近隣でも多くの訪日観光客を見かけるようになりました。

新型コロナウイルスの終息でインバウンド需要は回復しつつあることを肌で感じております。

大阪は訪日旅行でも訪れたい都道府県の上位にランキングされており、ユニバーサル・スタジオ・ジャパン、大阪城、道頓堀等の観光名所は訪日観光客で常に賑わっています。

また大阪から関西地区を観光する方々も数多く、特に悠久の歴史を持つ古都・京都は世界遺産が17カ所も登録されていることから、神社仏閣を中心に歴史的価値の高い街として世界から注目されており、日本人にとっても古くから魅力あるものであり、私も度々足を運び伝統的な日本の文化に魅了されております。

日本の文化を向上させていくことも、信用金庫の地域に根差した社会貢献と捉え、当金庫では、2024年6月15日(土)から大阪中之島美術館で開催される日本経済新聞社ほか主催の「醍醐寺展」に社会貢献活動の一環として協賛します。



(左から)《文殊渡海図》(国宝) 鎌倉時代(13世紀)／《如意輪観音坐像》(重要文化財) 平安時代(10世紀)／
《不動明王坐像 快慶作》(重要文化財) 鎌倉時代(建仁3年、1203年) 【すべて 画像提供: 奈良国立博物館】



大阪商工信用金庫
理事長

多賀 隆一

醍醐寺は世界遺産の一つであり、平安時代前期の874年に弘法大師空海の孫弟子、理源大師聖宝によって建立されました。

平安時代から鎌倉時代にかけて、皇族の子弟がしばしば入寺し、学僧として名をはせた者が数多くおり、他寺が追随できない独自の修法を編み出しました。近年国宝に指定された醍醐寺政教は、まさに当寺の学問の集積でありそこで育った僧侶が他の寺院で活躍した例も多く、醍醐寺は我が国における密教研修センターという性格を持っています。

豊臣秀吉が豪華な花見を行った桜の名所としても有名ですが、醍醐寺は密教文化と桃山文化という時代も性格も異なる文化が同居しており、それを伝える品々が今日に伝わっています。

大阪では初めてとなる醍醐寺の名宝展を当金庫の社会貢献活動として支援させていただき、愛好する人たちだけでなく、あらゆる層の皆様にも日本の文化を堪能していただき豊かで平和な社会の維持と文化の継承に尽力してまいります。



【住 所】〒536-0002 大阪市城東区今福東1丁目4番19号
【電話番号】06-6933-5841

【事業内容】約四百年にわたる事業の継承は、激動の時代を乗り越えながら、常に人々の暮らしと共に、2023年、「歴史」「伝統」「革新」が融和する創造型企業



【住 所】〒577-0843 大阪府東大阪市荒川2丁目8-26
【電話番号】06-6736-1515

【事業内容】障害者総合支援法及び、児童福祉法に基づく障がい福祉サービス又は地域生活支援事業

【生きた文化の伝承】

スギタグループ株式会社は、不動産企業として、日本の伝統的な建築を残しつつ、様々な地域を甦らせる事業を行っています。その一つである「しめ縄づくり」について、杵田社長に話を聞きました。



杵田社長

Q2 伝統継承と町興し

日本には「繰り返す」という文化があり、ふすま一つを取っても昔は張替え・削り使っており、物を大切にすることは日本の誇れる部分だと思います。

その日本の伝統的な家屋を大切にしたいという思いから古民家再生をしております。

人工的には作れない、歴史を重ねたからこそ出る温かみは古民家でしか味わうことができない「落ち着いた空間」です。そこに衣食住を備えることで人が集まり、町興しとなっていきます。

華やかなイベントを開催しても本質的な意味が無ければ継続は難しいが、そこに文化と歴史があれば、ぶれることのない町興しが継続できると考えています。

Q1 神社でのしめ縄づくりについて

きっかけは東條英利さん（東條英樹の曾孫）との出会いです。文化的な貢献をする東條さんは東京でしめ縄づくりの活動をされてきました。

年末にスーパーで市販されているしめ縄の多くは中国の水草、つまり雑草で作られています。

お正月に歳神さまを雑草でお迎えするのは形だけのものになり、本来の意味とは異なります。だったら見た目は不格好でも意味のある文化的なことをやろうと思い、稲藁を手配し地域コミュニティーの場として担ってきた神社でのしめ縄づくりを開催しました。この活動は大きく波及し、今では全国の神社でも盛んに行われるようになりました。

この活動は教育の一環としても取り入れたく小学校に推進しました。賛否両論の意見もありましたが地域や先生方のご協力もあって実施することが出来、今では他府県からも声がかかるようになりました。

受け継がれてきた文化にはそれだけの意味があるという事をこれからも伝えていけたらと思います。



【アートで社会と繋がる】

株式会社ノーサイドは、「障がいのあるひともない人もみんなで支え合う社会を作る」ことを目標に、障がい児・者の介護・支援をしている企業。パラアーティストの活動支援にも力を入れている中西社長に話を聞きました。



中西社長

Q2 パラアート支援をしようと思ったきっかけは？

重度の障がいがあったとしても仕事をして社会と繋がるということは大切だと思っています。障がいとは、できない事が少し多いだけで、できる事は必ずあります。それを仕事にしてあげることがノーサイドの役割であり、その一つが「アート」でした。

パラアート支援で大切にしていることは、その人たちがやりたいと思うこと・できる事をどうしたら実現できるのかを大切にしています。絵の先生に「こうしたらいい」と指示されて描くのではなく、描きたいものを書いてもらう。それがやりがいにも繋がっていると感じます。

アート作品の普及にも力を入れています。販売や個展等はよくありますが、当社が力を入れているのはアート作品の「レンタル」です。ご契約いただいた企業には、定額でアート作品をレンタルしています。その作品も、3カ月に1度入れ替えることで、様々な作品に触れていただいています。サブスクリプションという形でパラアートを広めているのは珍しいと思います。

Q1 社会貢献への強い思いはどこから？

約20年前から重度な障がい児のヘルパーをしていました。当時は、どれだけ重度な障がいを持っていても、親が子どもの面倒を見るべきであると思われており、障がい児をサポートする制度やヘルパーが少なく、仲間を増やしたいと強く思うようになり、それがノーサイドの設立に繋がりました。

20年前に比べると、制度も充実していき、ヘルパー等の支援者も増えています。時代がそうに変化するよう願い続けてきましたし、そうなるよう地道に活動を続けてきた結果だと思っています。

これからは、障がい者に関わりたくない人々に自分たちを知ってもらい、共存していくことができるまちづくりが必要だと思っています。

Q3 今後、パラアートにどのような期待を持っているか？

パラアートをきっかけにして、福祉や障がいについて理解ある人が一人でも増えてほしいと思っています。障がい者も障がいのない人も共に手を取り合い、支え合って生きていく社会になって欲しいと思っています。

アーティスト紹介



辻田 泰清
代表作：「歩」「君のハート」

作品製作には左足を使い、大胆に書く書道は力強く、迫力のあるマネの出来ない作風を持つ。時には愛らしい作品を手掛けることもある。左足かかとを使った点描画も得意とし、カラフルな厚みのある作品が多い。アートを通して自分を表現することで、言葉が伝わらないもどかしさ、憤り、様々な感情を表現している。



小原 和真
代表作：「音の足跡50000色」

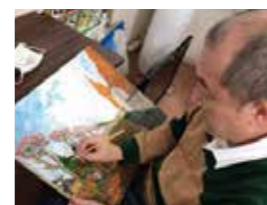
作品の描き方は、その時気持ちを手や道具を使いながら、時にはキャンバスを机にたたきつけながら描く。一番の魅力は、形を表現するよりは抽象的なものを描き、観る人の感性を揺さぶる作品を作れる事。様々な色を自由に使い、画用紙から、キャンバスまで幅広く描く。



伊藤 薫



大平 康希



狹野 俊之



島田 健司



早川ひかる



職員紹介

プライベートで、写真を通じた社会貢献活動をしている

今里支店 **加藤次長** にインタビューをしました。

活動内容の詳細

●活動のきっかけ

学生の頃に比べて、時間の経過がとても速くなったと感じるようになり、気が付くと1年が終わっているという日々から脱却したいと考えました。当時一緒に働いていた、梅田支店でお世話になった先輩職員の手書きの絵葉書に感銘を受け、四季を感じながら季節の経過を楽しみたいと思い、季節の花々や風景の撮影をはじめました。

●いつから活動しているのか

2017年10月にミラーレス一眼カメラを購入し、写真教室に通い始めました。それまでは、コンパクトカメラでなんとなく撮っていましたが、カメラの基本（絞り・シャッタースピード・ISO感度）について学びました。昨年はご縁があり、第6回「大阪商工信金社会貢献賞」受賞団体の広報写真ボランティアや日本赤十字社大阪府支部写真奉仕団で活動しています。



左から2人目

●具体的な活動内容は

引き続き写真教室で学びながら、有志で撮影会を行っています。京都・滋賀や奈良に行くことが多いです。今年は奈良の原始林・おふさ観音風鈴祭り・夜の生駒山上遊園地・工場夜景などの撮影を行いました。

また、広報写真ボランティアや写真奉仕団の一員として撮影のボランティア活動を不定期で行っています。



広報写真ボランティア活動風景

写真や活動に対する思いやこだわりについて

日常生活では見ることができない色を楽しみながら写真を撮っています。自然の色から癒しをもらっています。奈良の原始林で撮った森の赤ちゃんの写真がお気に入りです。



ボランティア活動の際は、被写体の活動内容がわかりやすく、活動されている方々が楽しんでいる姿を記録することを意識しています。

これからの抱負

今までは蛇や虫が苦手となかなか自然の中での撮影が苦手でしたが、チャレンジしてみると、神秘的な風景に出会うことができました。苦手だからと言い訳をせずに巡ってきた機会には積極的に挑戦し、新しい風景写真を撮っていきたくと思っています。



職員紹介

ユネスコ文化遺産にも登録されている日本三大祭り 京都祇園祭の「山鉾行事」に携わる

京橋支店 **田井課長代理** にインタビューをしました。



活動内容の詳細

●祇園祭に関わるきっかけは

祖父の代から祇園祭に関わっていました。物心つく頃には、祖父に連れられ祭りの見学に行き、自然と自分自身も関わりたいと強く思うようになりました。

●実際にどんな活動をしているのか

大学生の頃より、大工方として34基ある山鉾(やまほこ)の一種である放下鉾(ほうかほこ)の組み立てに携わるようになりました。放下鉾は、山鉾の中でも大きく、高さは約25m・重さは12tほどあります。放下鉾という名前は、鉾の真木のなかほど「天王座」に【放下僧像(ほうかそうぞう)】を祀っていることに由来します。放下僧とは、室町中期以降に現れた、街道で歌や曲芸を演じた僧のことを指し、能の曲目にもなっています。鉾頭は、日、月、星の三光が下界を照らす形となっており、その形が洲浜に似ているので「すはま鉾」とも呼ばれています。

山鉾は、釘を一本も使わず、縄がらみの伝統技法で組み立てており、巡行当日には、鉾の安全を見守りながらともに歩いています。



祇園祭に対する思い

小さい頃は、祇園囃子のリズムミカルな音や豪華絢爛な山鉾の迫力に魅了されていましたが、祭りに携わるようになってからは、装飾一つ一つの意味や成り立ちを知ること、伝統ある祭りに携わる重みを感じるようになりました。



これからの抱負

祇園祭を見に来た方々に、楽しんでもらうとともに、その成り立ちや本質にも興味を持ってもらえたらと思います。1,150年を超える歴史ある祭りには、様々な由来や意味があります。それを継承していくことで、更なる発展に貢献出来たらと思っています。

第17回 大阪商工信金社会貢献賞

審査員の厳選なる審査により、下記4団体が受賞団体として選ばれました。

なお、当金庫の役職員、OB・OGによる募金活動「商工さくら基金」より「さくら賞」を設け、応募団体の中から職員の審査により第14回「さくら賞」受賞団体を1団体選定いたしました。



表彰式

令和5年5月11日に、約3年ぶりとなる表彰式をリーガロイヤルホテルにて実施し、表彰式後は、受賞団体と当金庫職員による意見交流会も行いました。



1部 地域貢献の部



審査員を代表して、公益社団法人日本フィランソロピー協会の高橋理事長より、「1部 地域貢献の部」の審査講評をいただきました。表彰状・トロフィーに加え、「大阪商工信金社会貢献活動助成金」を授与し、受賞団体の今後の活動を側面的に支援いたしました。

2部 ソーシャルビジネスの部



審査員を代表して、京都産業大学の佐々木名誉教授より、「2部 ソーシャルビジネスの部」の審査講評をいただきました。1部と同じく、表彰状・トロフィー・大阪商工信金社会貢献活動助成金を授与しました。

さくら賞



当金庫職員を代表し、広報CSR委員が審査講評を行いました。表彰状・トロフィーの授与に加え、当金庫役職員、OB・OGによる任意の募金活動である商工さくら基金を資金源とした「さくら賞活動助成金」を授与しました。

受賞団体によるプレゼンテーションも行われ、団体の活動内容への理解を深め、日々課題解決に真摯に取り組む姿勢に感銘を受けました。

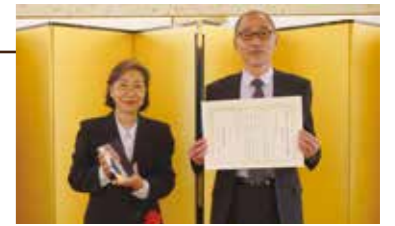
受賞団体紹介

1部 地域貢献の部

特定非営利活動法人IKUNO・多文化ふらっと



多文化と子どもの貧困化が進む生野区において、教科・日本語学習支援や体験活動支援、子ども食堂運営等に力を入れている。閉校を活用した「いくのコーライズパーク事業」は、大阪初となるNPOと企業が共同事業体として長期間にわたる多文化共生まちづくりであり、全国的なモデル事業となり得る点からも高く評価される。



<https://www.ikunotabunkaflat.org/>

特定非営利活動法人ダウン症ファミリー総合支援めばえ21



ダウン症児・者とその家族の総合支援を行っている。NPO運営としては日本で初めてのダウン症児専門デイサービスを立ち上げ、出生前の相談、0～18歳を対象に十数種類の教室を開講している。啓発イベントや学習会も行い、現在は18歳以降の青年期支援を課題とし社会人に向けての「学びの場」の立ち上げ準備中であり、今後の活動も期待できる。



<https://mebae21npo.wixsite.com/family>

NPO法人やんちゃまファミリーwith



やんちゃま版ネウボラや赤ちゃんから高齢者、皆が安心して暮らすことができるまちづくりとして松原市で30年以上活動を続けている団体であり、目の前の困りごとに真摯に向き合うことで、活動の幅を広げている。産学官民連携を実現した子育てしやすいまちづくりは、府内の模範となっており、今後も、先進的な範となることが期待できる。



<https://yanchama.net>

2部 ソーシャルビジネスの部

特定非営利活動法人チュラキューブ



高齢化が進み、空室や孤食問題を抱える地域の一室に、企業より出向した障がい者が食堂を運営する「杉本町みんな食堂」では、安価でおいしい料理を提供している。様々な社会課題を組み合わせることで、新たな課題解決に繋がれた同ソーシャルビジネスは、全国的なモデルとなり得る点からも高く評価される。



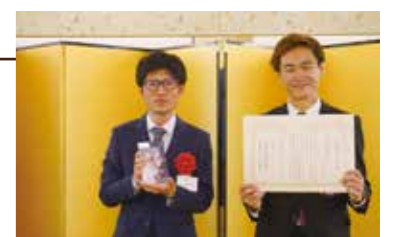
<http://chura-cube.com>

第14回「さくら賞」

特定非営利活動法人ふうせんの会



全国でいち早くヤングケアラー支援に特化し活動している当団体は、ピアサポートに力を入れている。また、当事者の声を広く伝えるためスクールソーシャルワーカーや学校関係者、福祉関係者向け講演会等を積極的に行い、周りの大人が気付ける環境づくりに尽力している点も高く評価される。



<https://ycballoon.org/index.html>

2023年上期

活動報告

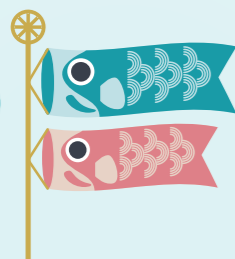


トルコ・シリア大地震における寄付 令和5年5月16日

2023年2月6日に起きたトルコ・シリア大地震を受け、当金庫では、未だ避難生活を強いられている方々への支援として、店頭募金・職員募金・商工さくら基金を合わせた金額と同額を当金庫から拠出するマッチングギフト形式で、日本赤十字社を通じて寄付を実施しました。



皇月
5月



振り込め詐欺防止チラシの配布 令和5年5月26日



大阪府東警察署の協力のもと、当金庫本店正面入り口にて「振り込め詐欺防止チラシ」を配布いたしました。当日は、当金庫公式イメージキャラクターである「けろけろけろっぴ」と一緒に、「家族で防ごう、振り込め詐欺」と訴えました。

信用金庫の日

お客さまに緑の輪が広がることを期待し、SDGsにちなんだ“4色の花の種”をプレゼントしました。また、脱炭素化社会に向けた取組として、当金庫は車・バイクの使用を控えた移動を心掛けました。



令和5年6月15日

水無月
6月

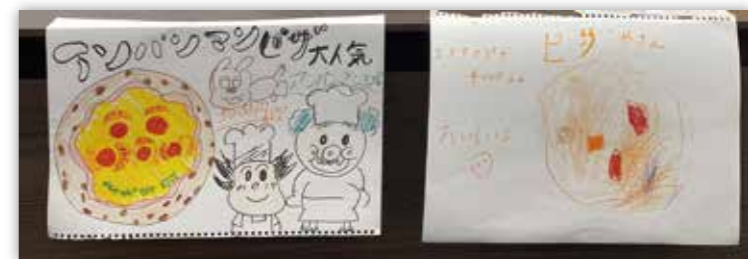


夏休み自由研究企画 ～会社経営やってみよう～

令和5年8月2日

葉月
8月

お客様には中小企業事業者様が多いことから、ご両親の仕事を疑似体験し、世の中のお金の流れを知ってもらう「起業体験」をマネースクール形式で行いました。



献血活動

令和5年9月12日

大阪府では、毎日1,100人の献血が必要とされているがコロナ禍以降、献血者数が減少していることを受け、職員による献血活動を実施しました。当日は大阪府赤十字センターより献血バスを配車し、本店駐車場にて、22名の職員が献血に協力しました。



長月
9月



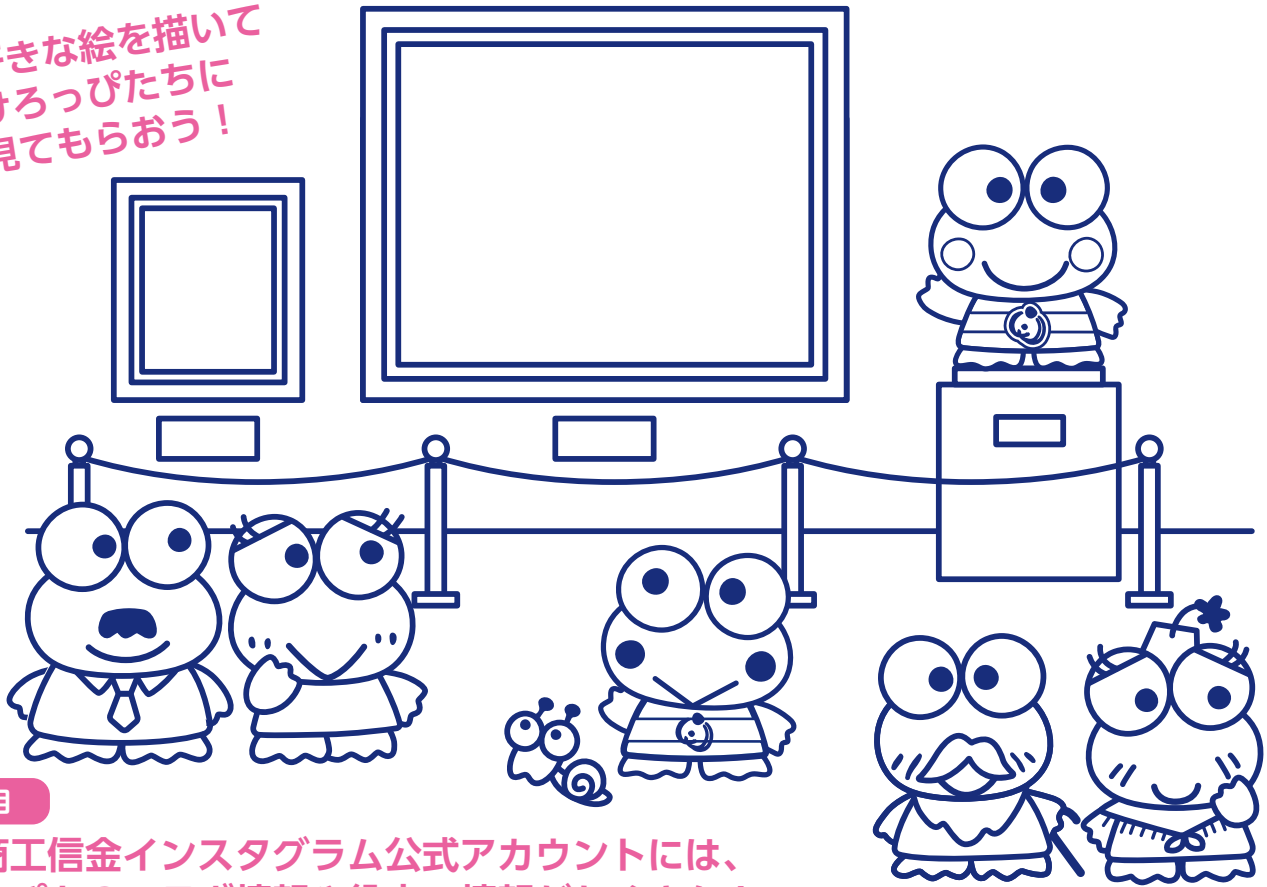


商工 × けろけろけろっぴ
コラボレーション企画!

1つ目

Vol.5の表紙、 わたしなら、こんな色!

好きな絵を描いて
けろっぴたちに
見てもらおう!



2つ目

大阪商工信金Instagram公式アカウントには、
けろっぴとのコラボ情報や役立つ情報がたくさん!

フォロー・いいね・
保存もうれしいです!

instagramやってます! / あなたのオリジナルのけろっぴたちを

めりえの投稿も
こちらから!

#大阪商工信金オリジナルめりえとタグ付けしてInstagramに投稿してね!

3つ目

間違い探し

ドーナツ池の「けろけろハウス」に住むけろっぴには、
家族やお友達がたくさんいます! あれれ? 間違いが5つあるよ。
4つの答えと、5つ目のヒントは、このページの下にあります。
超難問の5つ目は、Instagramで答え合わせをしてね!



間違い深しの答え: 1. 太陽がある 2. けろっぴの服の色 3. せよるすけの顔の向き 4. ドーナツ池の島に渡る橋の“丸太”の数
さあ! 5つ目の間違いは、見つかったかな? ヒント...美味しそう! 答えはInstagramで確認してね!

大阪商工信用金庫 広報CSR室

〒541-0053 大阪市中央区本町2丁目2番8号 TEL (06) 6267-2865

© 2023 SANRIO CO., LTD. APPROVAL NO. L645183

2023年12月発行